

# 第87回全道メーデー大会 200団体・5千名結集 －暮らしの底上げ実現－

桜の花も鮮やかに映る五月晴れの下、5月1日、労働者の祭典メーデーが開催された。回を重ね87回目となった本年のメーデーは、日曜日の開催ということもあり、子ども連れの参加者も多く、札幌の大通公園8丁目広場には200団体5000名が集まった。

今年も、歌・仮装コンクールシ、そして東北温泉旅行が当たるお楽しみ抽選会等のアトラクションから始まり、高校生平和大使2名の活動報告と続いた後、大会式典が開催され、冒頭、熊本を中心とする九州の地震により亡くなられた方を悼み黙祷が捧げられた。

式典では、大会主催者を代表して連合北海道出村会長が挨拶を行い、先に行われた北海道5区補選での取り組みに対する感謝を述べた後、7月に実施される参議院選挙において、「連合12名の比例区組織内候補と徳永エリさんの必勝に向けて、連合北海道一丸となつてたたかっていきましょう」と訴えた。

また、格差と貧困が広がっている現在の社会情勢はメーデーの精神に逆行しているとし、「労基法の改正や解雇の金銭解決制度導入を撤回すべきであり、労働者派遣法の再改正、憲法違反の安保関連法を廃止すべき」とした。

その後、北海道副知事・札幌市長・民進党代表の3人から来賓挨拶をいただいた後、参議院選挙での立候補予定者である徳永エリさんが挨拶に立ち、「大変厳しい状況ですが、何としても結果を出さなくてはなりません。全力で頑張りますので、最後までお支え下さい。」と参加者に訴えた。

更に、北海道第5区補欠選挙を戦い抜いた池田まきさんが登壇し、「無名の池田まきが、ここまでの戦いをさせていただいたのは、本当に皆様のおかげです。」と感謝の辞を述べ、「参議院選挙は、自民党の議席を一つも与えないくらいの思いで、戦いに挑まなければならないと思っており、今後も一市民として活動を続けていきたい」と話した。

最後に、「第24回参議院選挙必勝特別決議」「暮らしの底上げ実現に向けた特別決議」「安全保障関連法の廃止を期する特別決議」の3つの特別決議を採択して式典を終了し、デモ行進で市民にアピールした。

